

△産業宣教/世界軍宣教大会 軍宣教と契約的福音(使 10:45)	△ART と TCK 伝道学/世界軍宣教大会 あらかじめ行う軍宣教弟子(ヨシ 1:1-9)	△核心/世界軍宣教大会 軍宣教と福音を味わう弟子(使 10:45, 使 11:1-18)
<p>□序論_過去のわざわい</p> <p>1. 人はだれでも<b>罪</b>のほかは分からない。 創 3、6、11 創 3 章でサタンを聞いてサタンに捕えられ、ネフィリムになり、熱心に生きたが何もない状態になった。宗教、偶像、神殿 もがいて宗教を作り、偶像、神殿を建てた。ヨハ 8:44-畷「あなたがたの父である悪魔」結局、6つの畷に引っかかったのだ。</p> <p>2. ユダヤ人滅亡(伝統キリスト教) 原罪、サタン、地獄の背景が何か分からなかった。それゆえ、次世代が奴隷、捕虜、属国、流浪の民になった。マタ 12:26-30、43-45、ヨハ 8:44 サタンが私たちの中にやぐらを建てて、熱心にすればするほど、空き家になって悪霊が七倍で働く。</p> <p>3. 初代教会の限界 1) 使 11:1-18 異邦人の家で食事したことをキリストのみことばが成就したこととして見るができなかった。 2) ガラ 2:11-20 パウロが伝道運動するのに続けて邪魔をした。 3) II コリ 10:4-5 サタンが私たちの中に要塞を作った。</p> <p>4. ローマ教会 1) 王権 2) 教権 3) ヨハ 16:11-14 世の中がサタンの王国だと言われた。</p> <p>□本論</p> <p>1. ユダヤ人-正確な福音を持つことができなくて 1) わざわいの中に陥った。 2) 違うこと 間違った(選民思想, ヤハウエ思想, メシア思想) 考え 3) 戦争が続けて起こった。この中に福音を持っている<b>軍人</b>がいた</p> <p>2. 軍宣教 1) エジプトと 10 の奇跡で戦ったモーセ、ヨルダンに分けてエリコを崩して連合軍と戦ってアナク山地を占領したヨシュアとカレブが全部軍人だった。 2) ダビデが福音を知っている軍人だった。 3) ダニ 1:8-9 海外公務員まで結びつけられれば良い。ダニエルのような人物が全世界にいて、この答えを分かれば神様が弟子を付けられる。</p> <p>3. 最後の働き 1) J-指摘 イエス様が指摘されたのだ。「あなたがたが悪魔の子どもだ」「あなたの家にサタンがやぐらを建てている」「熱心にして掃除してきれいにしたが悪霊が七倍で入る」 2) 使 10:45 このような中に初代教会にコルネリウスのような人物が出てきたのだ。 3) ローマ この 1 人がローマとつながったのだ。実際のイタリア隊の百人隊長だ。</p> <p>□結論_ 7.7.7 システム 今からイエス様が与えてくださった御座のやぐら七つ、御座の旅程七つ、御座の道しるべ七つをシステムに作るように。</p>	<p>□序論</p> <p>1. あらかじめ- 軍入隊前、最初の兵、除隊以前-弟子の働きとわざわい、福音を分からないために「最後の働き」をすべきだ。 2. わざわい組織-祈りで倒すことをあらかじめ植えて送りなさい。 3. 7・7・7 を持って祈りなさい。</p> <p>□本論</p> <p>1. 出 2:1-10 幼いモーセに契約を植えた 出 5:12-46 10 奇跡でイスラエルを救い出す ヨシ 1:1-9 神様がモーセとともにおられたようにともにおられる ヨシ 3:1-13 ヨルダンも分けて、ヨシ 6:1-20 エリコも崩す ヨシ 10:10-14 攻め込んだ連合軍を祈りで勝つ ヨシ 14:6-15 最後のアナク山地をカレブが立ち上がって勝つことになる</p> <p>2. I サム 1:9-11 サムエルに契約を先に植えた I サム 7:1-15 ミツバ運動 I サム 16:1-13 ダビデを見つけ出して育てる I サム 17:1-47 ベリシテを倒す</p> <p>3. 使 10:1-6 皮なめシモンは軍を相手にした事業家、 使 10:45 ペテロが会った人物が軍人コリネリウス</p> <p>□結論_天地開闢</p> <p>1. 証拠ある弟子 1 人。証人は見た者、知った者、持った者 2. 2000 年-戦争で最も影響を与えた人が軍人 3. 弟子訓練-軍に行く前に必ず軍合宿、最初の兵のときにつながり、除隊する前に点検 △これが小さいことのように見えるが「天地開闢」することが起こる</p>	<p>正確な契約を握った人が神様に祈って礼拝するとき起こること 御座の祝福-三位一体の神様が働かれ 7・7・7 やぐら、旅程、道しるべが皆さんに作られている。神の国のことが起こる。暗闇が砕かれ始める(マタ 12:28-30)。このとき、白い服を着た御使いが時刻表を知らせる(使 1:11) 今回握るべき契約</p> <p>一番問題-過去のわざわい<b>が解決できなければ何もうまくできない。</b> 一番未来-福音と祈りを知る次世代弟子<b>を育てれば天地開闢の働きが起こった。弟子は神様が呼ばれたから変わらないで計算しない。</b> 一番使命-未来のわざわい<b>を止めること→軍宣教の福音を味わう弟子</b> 第一課題-散らされた弟子、残りの者、残る者、旅人</p> <p>□序論</p> <p>1. 黙想運動の主演 <b>7・7・7</b> 1) 3 集中-目を覚ませば準備して、屋にはすべて祈りに変えなさい。夜には答えを受ける祈り 2) 3 セッティング-プラットフォームが作られるので、人々が来て生かされて霊的疎通が起こる。 3) 3 答え-問題、葛藤、危機からみな出てくる。</p> <p>2. 300%主演 1) 専門性 2) 現場性 3) システム</p> <p>3. 未来運動の主演 1) 預言(マタ 24-25 章、II テモ 3 章、黙示録)-終わりの時には大騒ぎ、混乱、苦しみ。福音で答えが出なければ死ぬ。 2) ネフィリム時代-ネフィリム文化、ネフィリム弟子が出てきて瞑想運動、ネフィリムの後遺症で精神病者急増 3) 反キリスト-すべての宗教は同じだ。キリストは必要ない→わざわい、霊的問題、サタンの戦略、地獄の背景を止められないので死ぬ</p> <p>□本論</p> <p>1. ローマ属国-ローマ福音化できない。 1) 使 11:1-18 異邦人の家に行ったと論議 2) ガラ 2:11-20 律法で救われないのに、律法を守ることを強調(福音だけ止めて死ぬようにさせるサタンの作戦) 3) II コリ 10:4-5 私の中にサタンの要塞が建てられたこと</p> <p>2. 時刻表-このとき、皆さんを呼ばれた神様 1) 使 10:1-45 コルネリウスを呼ばれる 2) 使 11:1-18 コルネリウスのゆえに起こった紛争 3) 使 11:19-30 アンティオキア教会を建てられる 4) パウロを送られる 5) 使 18:1-4 プリスカ夫婦を送られる</p> <p>3. 福音を味わう軍宣教弟子として行きなさい-コルネリウス、ナルキソの家族、ローマ</p> <p>□結論 何の力もないのにどのように世界福音化するのか。ただ聖霊で、御座の力で、あなたとともにいると約束された。答えは後に来ることで、神の国が先に臨むのが答えだ。</p>
	<p>△散らされた弟子たち/世界軍宣教大会 軍宣教と福音を伝達する弟子(使 10:45)</p> <p>□序論_世界宣教 第 1 の答えは散らされた弟子(一番良いところが軍隊) 1. 軍の中にいるのでつながりが良い。 2. 世界的に管理できる(力) 3. この人を再派遣可能</p> <p>□本論</p> <p>1. ハバ 2:4 <b>悪人</b> <b>義人</b> 「悪人がなぜうまくいくのですか」 擬人が苦難を受けることも一時的。「しかし、正しい人(義人)は信仰によって生きる」 2. ロマ 1:16-17 <b>迫害</b> <b>あざけり</b> ユダヤ人とローマがものすごく迫害するとき。迫害よりさらに恐ろしいのがあざけり。パウロをあざけったとき、パウロが答えて、</p> <p>「私は福音を恥とは思わない。この福音は信じる者に救いを与える神の力だ。最初はユダヤ人、また、ギリシア人に」それとともに言ったことばだ。「しかし義人は信仰によって生きる」</p> <p>3. 中世時代 <b>教権</b> <b>政権</b> 福音がなくわざわいが来る。教権が立てられる。完全に政治権力が戦うのだ。このときルターが「どのように私たちが行いで救われるのか。どのように私たちがお金を出せば罪もなくなるのか。そうではない。ただ義人はキリストを信じる信仰によって生きる」</p> <p>□結論 <b>24 味わい</b> <b>25 待つ</b> <b>永遠 作品(挑戦)</b></p>	

△区域メッセージ第 40 週 5 つの確信と永遠の答え (Ⅱ テモ 3:14-15)	△聖日 1 部/世界軍宣教大会 世界のわざわいを止める軍宣教 (ロマ 16:11)	△聖日 2 部 一人でできる世界福音化 (エペ 1:15-23)
<p>△3集中ができれば3セッティングが作られて、重要なことがあらかじめ見える3答えが来る。3集中を24、3セッティングを25、3答えを続けて見つければ、永遠のことが見える。このようにしてこそ、私たちに正確な契約が見えて、Ⅱテモ3:14-15にパウロが話した確信が与えられる。まことの答えは7・7・7が作られること。御座が臨むと神の国、神の国のことが成り立って暗闇が砕かれる。天の軍勢が動員される。</p> <p>□序論</p> <p>1. ユダヤ人-3年-ユダヤ人が間違ったの信じていたのでイエス様が3年間、変えることだけ話された。ユダヤ人は福音を与えたのに、別のことを続いてしてわざわいが臨んだが、その理由を分らない。</p> <p>2. マルコ-限界-マルコの屋上の部屋から始まった教会がローマ福音化ができなかった。ローマに行ってこそ237、5000種族がいるが、この話を聞き取れない限界を表わした。それゆえ、パウロチームが現れた。</p> <p>3. ローマ-戦争-パウロチームが世界福音化をしたが、教えた次世代が起りローマを征服した。全体教会のトップは教皇だ。王と教皇がぶつあって崩れて、多くの戦争が起り始めた。</p> <p>□本論 使 19:8、5つの確信</p> <p>この(冒頭)話をわかったパウロが、ティラノで3か月の間、神の国について大胆に説明した。</p> <p>1. 救いの確信-私たちは計算ではなくて神様との関係だ。ほかのことは通しては、神の子どもになれない。Ⅰヨハ5:11-13で救いの確信の根拠はキリストだ。</p> <p>2. 導きの確信-キリストは目に見えないように三位一体の神様の霊で、私たちに完べきに導かれる。それゆえ、パウロは断食しながら聖霊の導きを完べきに受けた。</p> <p>3. 祈りの答えの確信-祈りの答えの確信がないから心配が多い。イエス・キリストの御名は神様の御名なので、その御名で祈れば必ず答えられる。</p> <p>4. 罪の赦しの確信-だれもわざわいに勝つことができないので、キリストが私たちが受けるべきわざわいを全部十字架で解決された。</p> <p>5. 勝利の確信-Ⅰコリ10:13に私たちに耐えることができる試みを与えられて勝つようになれる。私たちに答えと勝利をくださる理由は、世界福音化しなければならぬためだ。</p> <p>□結論</p> <p>1. 神様の基準-三位一体の神様が霊で御座の力で私とともにおられることが確実ならば、神様の基準に変わらなければならない。</p> <p>2. 神様の計画を見て行くこと、教会に対する神様の計画を発見してこそ正しい教会になる。</p> <p>3. 流れ-祈りの答えとみことば、証拠も流れがある。7道しるべが私たちの目的だ。</p>	<p>□序論_キリストを遣わして「ただ」といわれた理由</p> <p>1. 過去のわざわい-なくならないので、キリストを遣わしてなくす。</p> <p>1) 私・ネフィリム・バベルの塔、宗教・偶像・神殿、異-キリストによって、そのやぐら、要塞、王国を破壊させなさい。</p> <p>2) 相変わらず暗闇の奴隷、捕虜、属国</p> <p>3) 選民、ヤハウェ、間違ったメシア思想に捕えられたユダヤ人(マタ 12:28-30、ヨハ8:44)</p> <p>4) 福音を逃した初代教会</p> <p>5) 霊的問題-全世界は暗闇のやぐら、要塞、王国でひっくり返る</p> <p>※神様がキリストを遣わされた理由</p> <p>1) 神の子が来られたこと-悪魔のわざを打ち破る(Ⅰヨハ3:8)</p> <p>2) すべての罪を赦す贖いの代価としてキリストを遣わされる(マコ 10:45)</p> <p>3) わたしが道であり真理でありいのち(ヨハ 14:6)</p> <p>2. 未来のわざわい</p> <p>1) ローマが福音化されるので福音がなくなり始め-戦争</p> <p>2) 反キリスト キリストを話してはならない→ほかの名を与えられていない(使 4:12)</p> <p>3) 世界のわざわい 終わりのときに全世界がわざわい、揺れる教会→ただ福音が全世界に宣べ伝えられた後に終わりが来る(マタ 24:14)</p> <p>4) 崩れる次世代-子どもたちのために泣きなさい。わたしの子羊を飼いなさい(ルカ 23:28、ヨハ 21:15-18)。</p> <p>5) 門を閉ざす教会→ただキリスト・ただ神様・御座のやぐらを建てなさい。その旅程を行って、道しるべを建てなさい。</p> <p>3. 特別わざわい(エペ 6:12)-支配、力、暗闇の世界の支配者、天上にいるものもの悪霊を動かすサタン。これが私たちの戦い。軍宣教を置いて祈ろう</p> <p>□本論_ローマ- 237、5千種族を生かすことができる所</p> <p>1. 滞在中のローマ人(使 2:10)-プリスカ夫婦</p> <p>1) カルバリの丘の契約、オリブ山の契約を持った者</p> <p>2) マルコの屋上の部屋で力を体験した者</p> <p>2. ローマ市民権者、ローマに行くことができる力を持った者-パウロ</p> <p>1) イスラエルと異邦人、王たちの前に立てるための選びの器(使 9:1-15)</p> <p>2) 神の国を正しく知ったパウロ(使 19:8)</p> <p>3) 三つの庭が開かれる</p> <p>4) ローマの門 わざわいを止める福音を伝えることがあるならば、暴風の中にも大丈夫だ(使 27:24)。</p> <p>3. ナルキソの家族(ロマ 16:11) -ローマ皇帝の秘密文書特報の家族</p> <p>1) 契約を持っていれば小さい現場でも神様の働き</p> <p>2) まことの福音を止める者はいない。</p> <p>3) 御座の力を知るひとり</p> <p>□結論</p> <p>1. この福音で御座のやぐらを建てなさい。その力で旅程を行って道しるべを建てるのだ。</p> <p>2. 軍隊でわざわいを受けるやぐらを倒して、神様のやぐらを建てれば全世界に広がる。</p> <p>3. この契約を持って答えから受けなさい。</p>	<p>皆さんの悩み、悩みなのか。心配、不信仰、私の主張のためではないのか。それが解決されない以上、みことばは皆さんと関係がない。私たちは私の考えを持って問題でないことを問題だと言う。すると、みことばが成就されない。</p> <p>ティラノ運動が起こったエペソで、パウロがローマに行く裁判に上訴した。裁判を受けるために待っている中で書いた手紙がエペソ人への手紙。本当に霊的の戦いは皆さん一人ですることができる。皆さん1人が世界福音化することができる。</p> <p>今日の本文はパウロの祈りだ。</p> <p>契約を握って祈るとき、御座のやぐらが建ち、御座の旅程を行って、御座の道しるべが建つ。</p> <p>ここで祈っているが暗闇(サタン、わざわい、地獄の背景)が縛られる。これを指してキリストと言う。このとき、神の国のことが起こる。使 1:11、詩 103:20-22 神様のみことばを成し遂げるために御使いが動員される。これが答えだ。これが先に必要だ。</p> <p>□序論_パウロの祈りに出てきた重要なこと</p> <p>祈り-感謝(16節)、啓示(17節)、心のみ、召された望み、受け継ぐもの(18節)、すべての統治-万物の上に優れた名前を与えられた(21節)</p> <p>パウロがローマに上告した理由-何年か後にイスラエル滅亡 70~1948年</p> <p>□本論</p> <p>1. 原因</p> <p>1) 族長が福音を逃した</p> <p>2) 奴隷、捕虜、属国になったが福音が分からない</p> <p>3) ユダヤ人は完全に福音を逃してわざわい、サタン、地獄の権威を止めることができない。</p> <p>2. 解決策を知った人</p> <p>使 19:8 大胆に神の国のことを説明した理由</p> <p>1) 使 9:1-15 キリストの前に完全にひざまずいたパウロ</p> <p>2) 使 13、16、19 神の国を成し遂げる方法-完べきな聖霊の導きを受けた</p> <p>3) ピリ 3:1-21 過去がみな用いられたパウロ</p> <p>△キリストが与えられたやぐら、旅程、道しるべが何か知っていたパウロ</p> <p>3. 未来を知った人 塗堂に入ったパウロ</p> <p>1) 70年イスラエル滅亡 2) 313年ローマ キリスト教を国教と宣言</p> <p>3) 1517年福音がなくなったとき福音を持って出たルター</p> <p>□結論</p> <p>1. わざわいが何か分かれば契約が見える- Covenant</p> <p>2. 解決策が何か分かればビジョンが見える- Vision</p> <p>3. 私がすることを悟ったこと- Dream</p> <p>4. 神様の方法(神のかたち)で可能だ- Image</p> <p>5. 神様のことで成就させる。私たちのことでしようとしてはならない- Practice</p> <p>△あなたがたの思い煩いを主に任せなさい。あなたがたの敵である悪魔がだれかを食い尽くそうと探し回っている。思い煩いは不信仰だからだ。恐れには刑罰が伴う。サタンはヨブが心配していることを触った。心配してはならない。御座のやぐら、旅程、道しるべの中に入れて良い。</p>